

諏訪の景気動向

平成26年11月

(平成26年 10月末 D・I調査)

平成26年11月28日
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏 訪 信 用 金 庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 26 年 10 月末調査）

「平成 26 年 10 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 170 社のご協力を得て行った平成 26 年 10 月末の「景気動向調査(DI調査)」では、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは $\Delta 0.6$ となり、前回調査時(平成 26 年 7 月末、以下同)の 13.5 から、14.1 ポイント悪化した。製造業の業況判断DIは $\Delta 0.8$ と、前回の 12.4 から 13.2 ポイント悪化し、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも 0.0 と前回の 16.6 から悪化し、総体的に悪化傾向となっている。「3ヶ月後」の業況予想DIも製造業が 0.0(前回 10.1)と悪化し、商業をはじめとする非製造業は $\Delta 23.3$ (前回 2.4)と前回より悪化予想が増えている、回答全社では $\Delta 5.8$ となった。消費増税の影響が残る中で、回答全社で 45.3%の企業が、前年同期に比べて原材料や燃料等への費用負担が上昇したとしている。

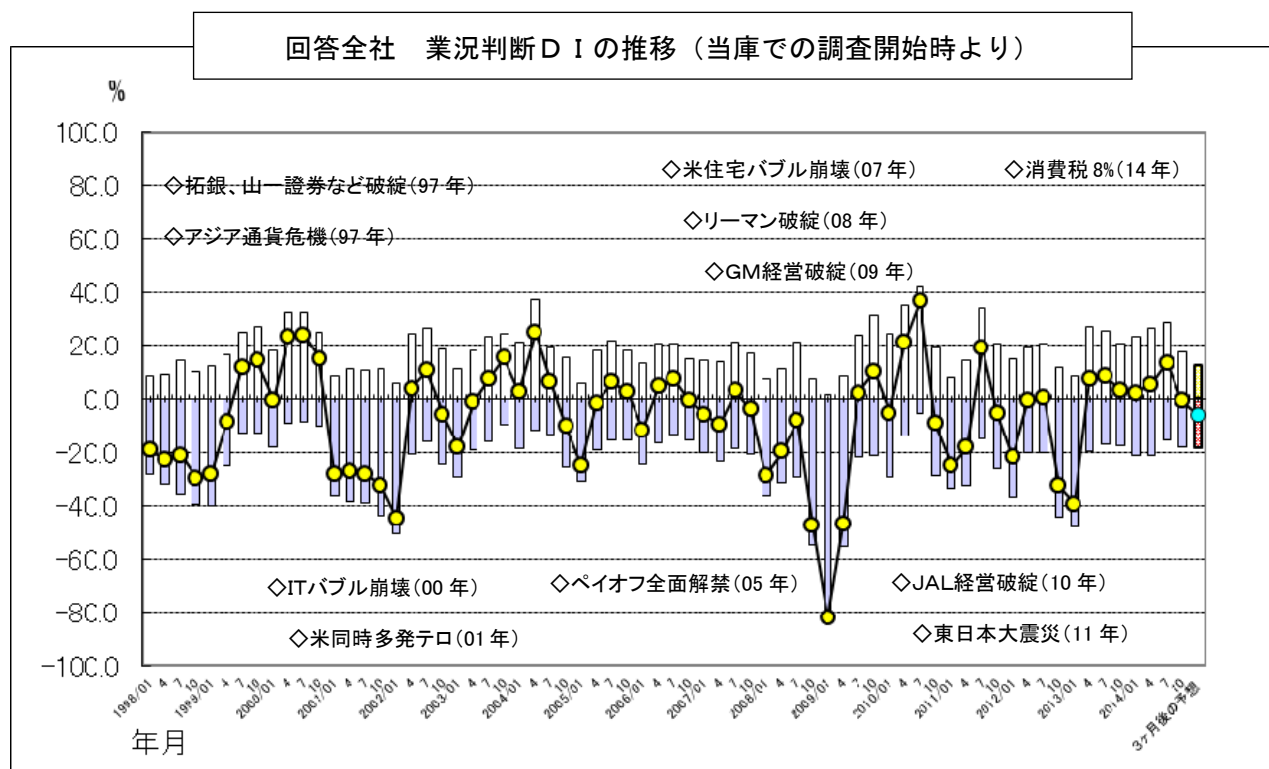
製造業の業況判断DIは、「3ヶ月前」比で $\Delta 0.8$ と前回調査時の 12.4 から悪化し、「前年同期」比も 7.9 で、前回の 27.1 から悪化した。「3ヶ月後」の予想は 0.0 で前回の 10.1 より悪化し、不透明感が出ている。受注状況DIは「3ヶ月前」比で $\Delta 2.4$ と前回の 11.6 から悪化し、「前年同期」比も前回の 24.0 から 11.0、「3ヶ月後」の予想も前回の 8.5 から 1.6 へとプラス水準だが、悪化している。また、収益性DIは「3ヶ月前」比が前回の $\Delta 6.2$ から $\Delta 13.4$ 、「前年同期」比は $\Delta 2.4$ から $\Delta 7.8$ 、「3ヶ月後」の予想は前回の $\Delta 2.3$ から $\Delta 8.8$ と悪化幅が広がっている。円安による原材料価格上昇や燃料の高騰などに負担を感じる企業が多く、前年同期に比べ、48.8%の企業が費用負担が上昇したとしている。3ヶ月後も同様な状態で推移する予想が多い。消費増税の影響は、3ヶ月前に比べて 62.2%の企業が「多少」、9.4%が「多大」とし、薄れつつあると見られていたが、依然影響を残している。

商業の大型店を中心とした業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて前回の $\Delta 18.2$ から 0.0 へ改善したが、「前年同期」比では前回の $\Delta 9.1$ から $\Delta 27.2$ 、「3ヶ月後」の予想も前回の $\Delta 27.3$ から $\Delta 54.5$ へ悪化した。来店客数DIは「3ヶ月前」比が $\Delta 36.4$ から 0.0、「前年同期」比は $\Delta 27.2$ から 0.0 と改善したが、「3ヶ月後」は前回同様の $\Delta 45.5$ と悪化予想が多い。また、収益性DIは「3ヶ月前」比は 9.1 で好転企業が上回るが、「3ヶ月後」は前回の $\Delta 27.3$ から $\Delta 36.4$ と悪化幅が広がった。消費増税の影響は、90.9%の企業が「多少」または「多大」と感じ、前回の 72.7%より広がっている。自動車販売は、諏訪地方の 10 月の車庫証明件数(軽自動車除く)が 959 件で、前年同月比では 64 件減少($\Delta 6.3\%$)した。前月比でも 51 件減少($\Delta 5.0\%$)した。

観光・サービス業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIが $\Delta 4.8$ で、前回調査時の 42.9 から大幅悪化した。宿泊客数DIも同様に悪化し、客単価DIは前回の 19.1 から 9.6 へ悪化した。「前年同期比」では、業況判断DIが $\Delta 9.5$ で前回の $\Delta 4.8$ より悪化幅が広がった。宿泊客数DIは $\Delta 9.5$ から 4.7 で増加した企業が多いが、材料や燃料などの費用負担は 28.6%の企業が上昇した。「3ヶ月後」は、季節要因もあって業況予想DIが $\Delta 19.1$ で前回の 14.3 より悪化し、宿泊客数予想DIも $\Delta 23.9$ と前回の 4.8 から悪化した。客単価予想DIも $\Delta 19.1$ と前回の $\Delta 4.8$ から悪化している。台風などの天候不順や御嶽山噴火の風評被害が客足に影響を与えた。紅葉目的の団体客や外国人観光客は増加しているが、価格競争が激しくなっている。また、「3ヶ月前」と比べ、76.1%の企業が消費増税の影響を感じている。

建設業の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて横ばいの企業が多いが、9.1と前回調査時の0.0から改善している。「3ヶ月後」の予想は0.0で前回の10.0より悪化したが、ほとんどの企業が横ばいと見ている。受注状況DIは、「3ヶ月前」比は0.0で前回の△20.0から改善したが、「前年同期」比では△27.3で悪化が好転を上回っている。「3ヶ月後」の予想は横ばいの見方が多く、△9.1で前回の△10.0とほぼ同様に推移している。諏訪地方の平成26年9月の新設住宅着工戸数は82戸で、前年同月比14戸減少(△14.6%)した。平成26年4月～9月の累計着工戸数は529戸で、前年同期累計比166戸減少(△23.9%)した。10月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は7件607百万円だった。平成26年4月～10月の累計は73件、4,042百万円で、前年同期累計に比べて30件減少したが、金額は157百万円、4.1%の増加となった。市町村の発注工事は合計109件、757百万円で、前年同月比13.3%増加した。

雇用状況は、平成26年9月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を0.21ポイント上回り、前月を0.06ポイント下回る1.14倍となった。昨年6月から16ヶ月連続で前年を上回っている。長野県は1.12倍で、全国は1.09倍となった。新規求人数(全数)は1,451人で前年同月比31人(2.1%)減少し、新規求職者数は1,077人で前年同月比88人(8.9%)増加している。岡谷市の大型店の店舗改装のための一時閉店の影響などで増加した。産業別の前年同月比の新規求人数は、生活関連サービス・娯楽業で67.9%増加し、飲食店・宿泊業で46.7%、建設業で27.1%減少した。求人の特徴別では「継続する人員不足」「欠員補充」が増加し、「業務量増大」「創業・新分野展開」が減少した。1件10人以上の人員整理は1件11人で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は77人で、前年同月より18人増加し、前月より44人増加した。求人はリーマン・ショック以前の水準に近づきつつあるが、需要に見合った労働力の確保が難しく、雇用のミスマッチもある。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(170社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が17.6%、「横這」企業が64.1%、「悪化」企業が18.2%で△0.6と、前回調査時の13.5から14.1ポイント悪化した。前回に比べて、製造業は、「好転」企業が27.1%から16.5%へ減少し、「悪化」企業は14.7%から17.3%へ増加した。非製造業は「好転」企業が33.3%から20.9%へ減少し、「悪化」企業が16.7%から20.9%へ増加した。このところ、6回の調査時点でプラス水準だったが、再び水面下となった。急激な円安傾向は、自動車部品など輸出関連の業種には恩恵となる一方で、原材料価格上昇の影響を受ける企業も多く、影響の違いが業況に反映して格差が表れている。回答全社では3ヶ月前より、33.5%の企業が費用負担が上昇している。

産業別業況表

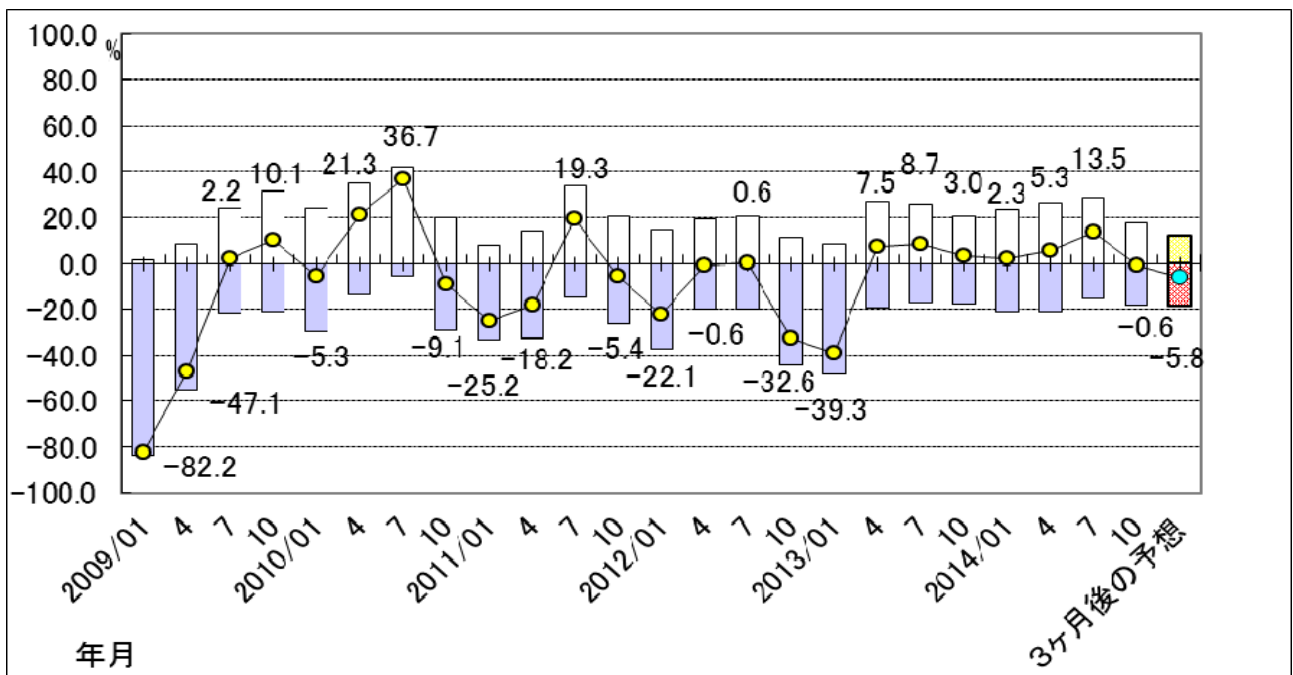
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	170	17.6	64.1	18.2	-0.6	170	29.4	43.5	27.1	2.3	170	12.4	69.4	18.2	-5.8
製造業	127	16.5	66.1	17.3	-0.8	127	32.3	43.3	24.4	7.9	127	13.4	73.2	13.4	0.0
非製造業	43	20.9	58.1	20.9	0.0	43	20.9	44.2	34.9	-14.0	43	9.3	58.1	32.6	-23.3
商業	11	27.3	45.5	27.3	0.0	11	27.3	18.2	54.5	-27.2	11	0.0	45.5	54.5	-54.5
建設業	11	9.1	90.9	0.0	9.1	11	0.0	90.9	9.1	-9.1	11	0.0	100.0	0.0	0.0
観光・サービス	21	23.8	47.6	28.6	-4.8	21	28.6	33.3	38.1	-9.5	21	19.0	42.9	38.1	-19.1

自社業況判断DIの推移

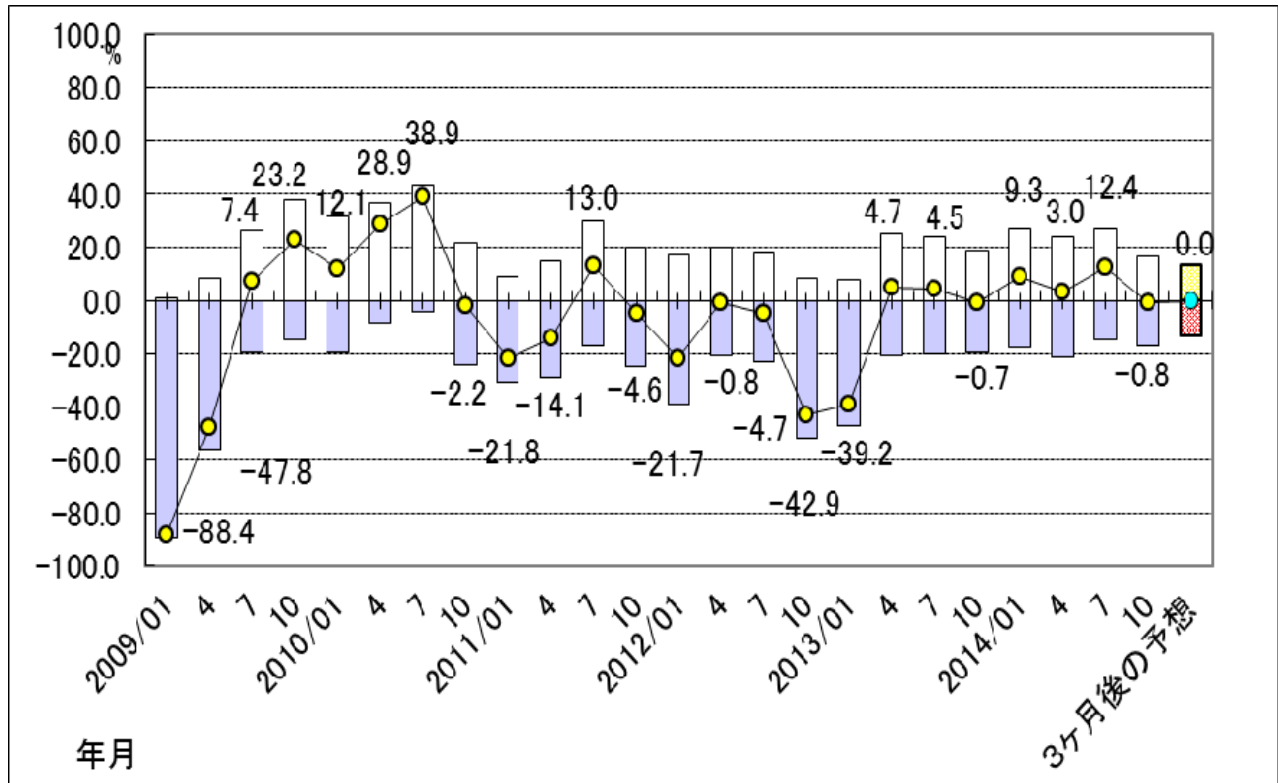
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



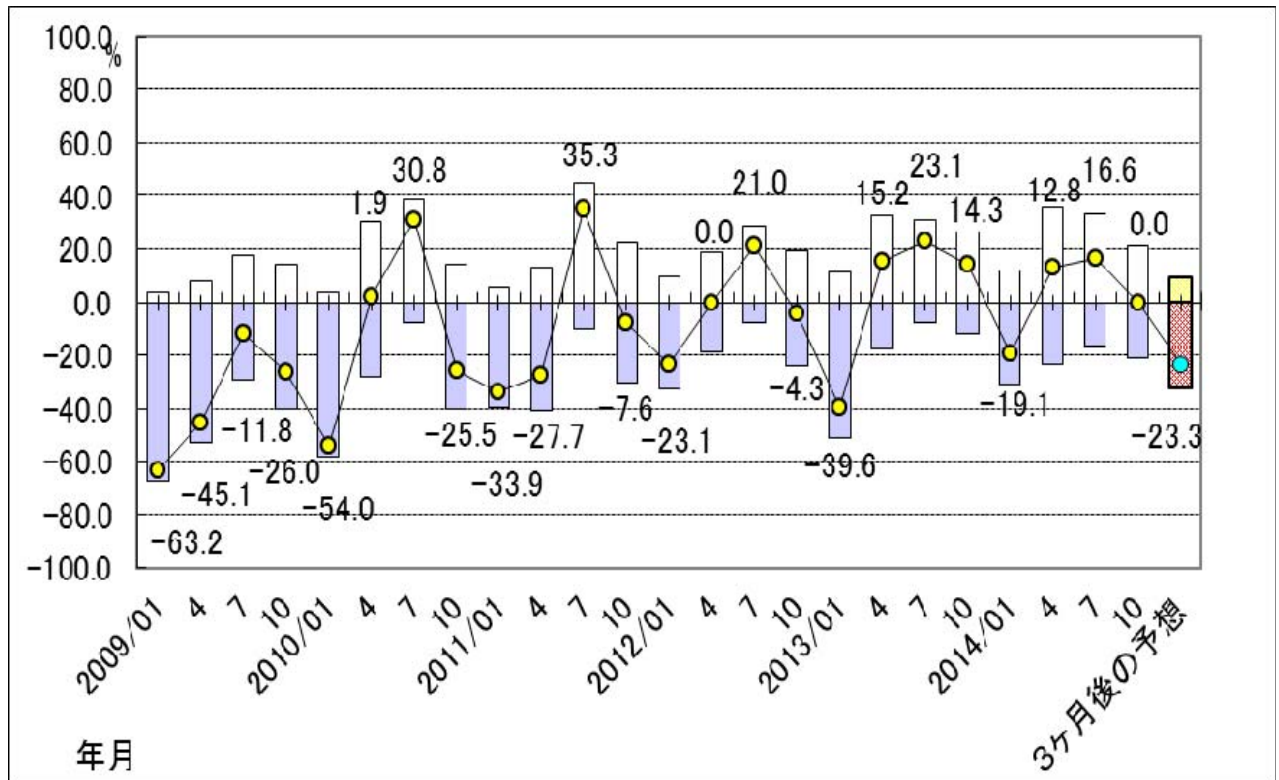
●製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1. 製造業

業況判断DIは、業種によって格差はあるが、総体的に「3ヶ月前」比で△0.8と前回調査時の12.4から13.2ポイント悪化した。「前年同期」比は7.9で、前回の27.1から19.2ポイント悪化し、「3ヶ月後」の予想も0.0で、前回の10.1から悪化した。

受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて△2.4と前回の11.6から14.0ポイント悪化した。「前年同期」比は11.0で前回の24.0から13.0ポイント悪化している。「3ヶ月後」の予想DIも1.6と、前回の8.5から6.9ポイント悪化している。

収益性DIは、「3ヶ月前」比で△13.4と前回の△6.2から7.2ポイント悪化し、「前年同期」比でも前回の△2.4から△7.8～5.4ポイント悪化した。「3ヶ月後」の予想は△8.8で、前回の△2.3より6.5ポイント悪化し、先行き不透明感がある。円安の影響で、原材料や輸送費、燃料などの高止まりが収益を圧迫する企業が多い。費用負担は3ヶ月前比で36.2%、前年同期比で48.8%の企業が上昇している。3ヶ月後も33.3%の企業が上昇すると予想している。

消費増税の影響は、「3ヶ月前」と比べて「多少」とする企業が62.2%(前回48.3%)、「多大」とする企業が9.4%(前回10.0%)あり、依然影響が残っている。「3ヶ月後」の予想では「多少」が61.1%(前回50.8%)、「多大」が11.9%(前回7.5%)で、今後も影響が続くと予想している。

業種別(主要5業種)の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「金属製品」が0.0(前回38.4)、「一般機械」は5.9(同12.9)、「電気機械」は△12.0(同△3.8)、「輸送用機械」は0.0(同17.6)、「精密機械」が7.7(同0.0)となった。「前年同期」比では「精密機械」が7.7、「金属製品」は21.5、「一般機械」は14.7、「輸送用機械」は21.4、「電気機械」が16.0となっている。「3ヶ月後」の予想DIは、「金属製品」が7.2、「一般機械」が△11.7、「電気機械」は16.0、「輸送用機械」は7.2、「精密機械」が△15.4となっている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	127	16.5	66.1	17.3	-0.8	127	32.3	43.3	24.4	7.9	127	13.4	73.2	13.4	0.0	
規模	1～29人	67	14.9	67.2	17.9	-3.0	67	26.9	50.7	22.4	4.5	67	6.0	76.1	17.9	6.7
	30～99人	39	20.5	59.0	20.5	0.0	39	38.5	28.2	33.3	5.2	39	17.9	74.4	7.7	3.9
	100人～	21	14.3	76.2	9.5	4.8	21	38.1	47.6	14.3	23.8	21	28.6	61.9	9.5	2.1
分類	金属製品製造業	14	21.4	57.1	21.4	0.0	14	42.9	35.7	21.4	21.5	14	14.3	78.6	7.1	7.2
	一般機械器具製造業	34	23.5	58.8	17.6	5.9	34	35.3	44.1	20.6	14.7	34	5.9	76.5	17.6	-11.7
	電気機械器具製造業	25	12.0	64.0	24.0	-12.0	25	40.0	36.0	24.0	16.0	25	24.0	68.0	8.0	16.0
	輸送用機械器具製造業	14	7.1	85.7	7.1	0.0	14	35.7	50.0	14.3	21.4	14	14.3	78.6	7.1	7.2
	精密機械器具製造業	13	7.7	92.3	0.0	7.7	13	23.1	61.5	15.4	7.7	13	0.0	84.6	15.4	-15.4

① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて0.0で、前回調査時の38.4から悪化した。「前年同期」比は21.5で前回の53.8より悪化している。「3ヶ月後」の予想は7.2で前回の15.4から8.2ポイント悪化している。円安の進行で、アルミやステンレスなどの原材料の卸値が高騰し、収益圧迫の要因となったり、取引先の在庫調整の影響がある。

● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて5.9で、前回の12.9から7.0ポイント悪化した。「前年同期」比でも14.7(前回22.6)と悪化し、「3ヶ月後」の予想は△11.7と、前回の0.0から悪化している。医療機関連などで円安効果が売り上げを押し上げる企業がある一方で、原材料高に比べて取引先に考慮されにくいエネルギーコストの上昇に頭を痛める企業もある。

● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「好転」企業(12.0%)が、「悪化」企業(24.0%)を下回り、△12.0で前回の△3.8から悪化した。「前年同期」比では「好転」企業が40.0%で、「悪化」企業の24.0%を上回り16.0だが、前回の26.9より悪化した。また、「3ヶ月後」の予想は16.0でプラス水準だが、前回の26.9より悪化した。情報機器関連や高付加価値製品で好調を持続する企業はあるが、収益性の課題もある。

● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて横ばいの企業が多く高止まりの0.0で、前回の17.6からは悪化した。「好転」企業が前回の29.4%から7.1%に減少したが、「悪化」企業も11.8%から7.1%に減少している。「前年同期」比は21.4で、前回の58.8から悪化した。「3ヶ月後」の予想は7.2で前回の5.8からやや改善している。自動車部品は、国内の販売台数の伸び悩みの影響で生産調整の動きがある。

● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて7.7で、前回の0.0から改善した。92.3%の企業が横ばいとなっている。「前年同期」比も7.7で前回の0.0から改善した。一方、「3ヶ月後」の予想は好転予想の企業がなく、△15.4で前回の12.5から悪化した。84.6%の企業が横ばいと見ている。堅調だった分野の新規発注や見積もりが減少傾向になる企業が見られ、先行きの不透明感がある。

② 規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人」規模が△3.0で前回の9.3から悪化し、「30～99人」規模が0.0で前回の12.2より悪化、「100人以上」規模は4.8で前回の21.7から悪化した。「前年同期」比は「1～29人」規模が4.5で前回の23.1から悪化し、「30～99人」規模が5.2で前回の24.4から悪化、「100人以上」規模は23.8で前回の43.5より悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「1～29人」規模は△11.9で前回

の△4.6より悪化し、「30～99人」規模が10.2で前回の22.0より悪化、「100人以上」規模は19.1で前回の30.4より悪化した。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べて受注状況DIは、「増加」企業22.0%、「減少」企業24.4%で△2.4と、前回調査時の11.6から悪化している。「前年同期」比でも前回の24.0から11.0と悪化した。「3ヶ月後」の予想は「増加」企業18.9%、「減少」企業17.3%の1.6で、前回の8.5から悪化している。

規模別の受注状況DIは、総体的に悪化している。「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は△9.0で、前回の3.1から悪化した。「30～99人」企業は5.1で、前回の17.0から悪化し、「100人以上」でも4.7で前回の26.1から悪化した。「前年同期」比では「1～29人」が5.9で、前回の21.6から悪化し、「30～99人」は10.3と前回の19.5から悪化、「100人以上」も28.6と前回の39.1から悪化している。「3ヶ月後」の予想は、「1～29人企業」が△10.5で前回の△9.3から悪化し、「30～99人」は前回の19.6から15.4と悪化した。「100人以上」も14.3で前回の39.1から悪化した。

業種別(主要5業種)で「3ヶ月前」比は、「一般機械」と「電気機械」が前回の0.0と同率だった。「精密機械」は18.8から0.0、「輸送用機械」は17.6から7.2、「金属製品」は38.4から0.0とそれぞれ悪化した。「前年同期」比は「一般機械」が前回の19.3から20.6、「電気機械」は19.2から20.0、「精密機械」は6.2から7.7とやや改善したが、「輸送用機械」は58.8から35.8、「金属製品」は53.8から21.5と悪化した。「3ヶ月後」の予想は「一般機械」が△11.8で前回の△9.7から悪化し、「精密機械」も6.3から△7.7に悪化した。「金属製品」は23.1から21.5、「電気機械」も30.8から20.0、「輸送用機械」は5.8から0.0へと悪化している。

「受注状況は地域格差があり、都市部は順調だが、地方は厳しい」「円安のメリットは大手だけで、中小企業にデメリットが集まっている。円安の進行が止まらなければ、さらに収益が圧迫され、厳しい経営環境が続く」とする声がある。

業種別・規模別受注状況表

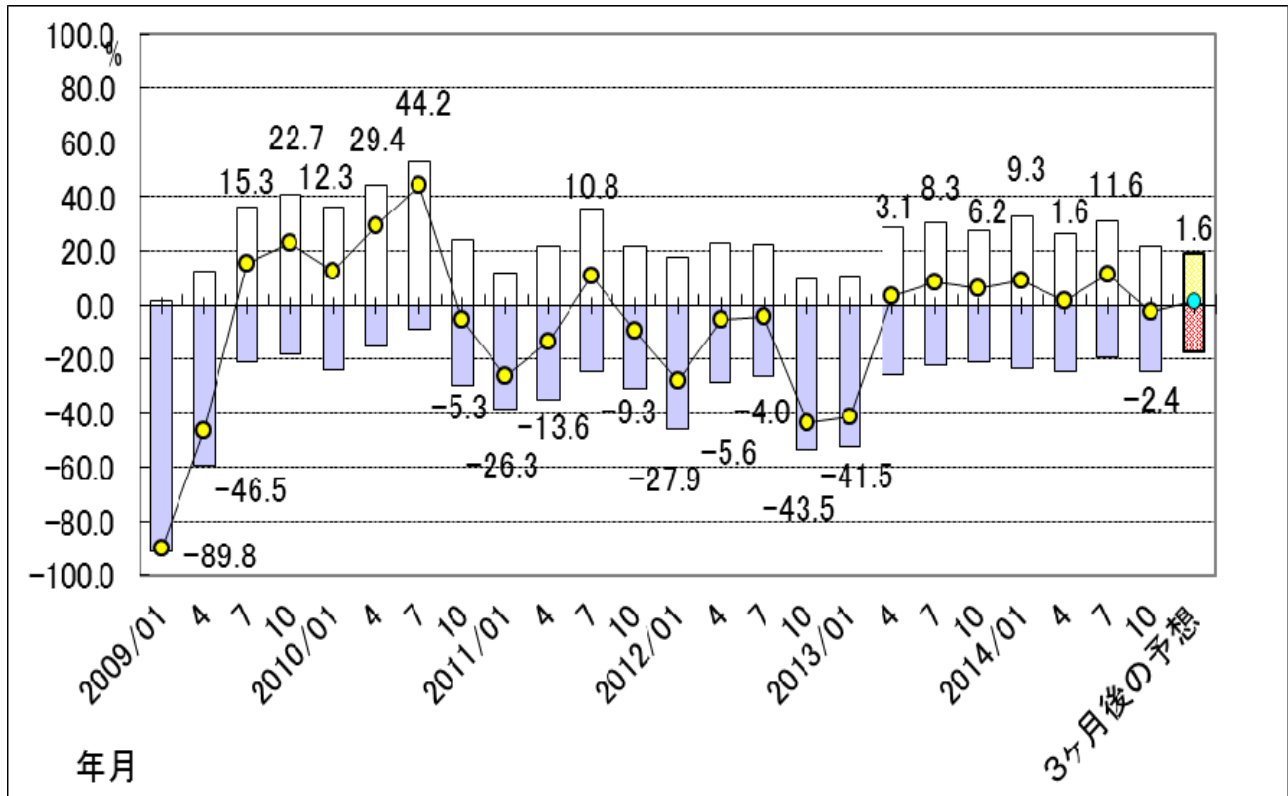
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	127	22.0	53.5	24.4	-2.4	127	37.0	37.0	26.0	11.0	127	18.9	63.8	17.3	1.6	
規模	1～29人	67	19.4	52.2	28.4	-9.0	67	31.3	43.3	25.4	5.9	67	10.4	68.7	20.9	-10.5
	30～99人	39	28.2	48.7	23.1	5.1	39	43.6	23.1	33.3	10.3	39	28.2	59.0	12.8	15.4
	100人～	21	19.0	66.7	14.3	4.7	21	42.9	42.9	14.3	28.6	21	28.6	57.1	14.3	14.3
分類	金属製品製造業	14	28.6	42.9	28.6	0.0	14	42.9	35.7	21.4	21.5	14	28.6	64.3	7.1	21.5
	一般機械器具製造業	34	23.5	52.9	23.5	0.0	34	44.1	32.4	23.5	20.6	34	8.8	70.6	20.6	-11.8
	電気機械器具製造業	25	24.0	52.0	24.0	0.0	25	44.0	32.0	24.0	20.0	25	32.0	56.0	12.0	20.0
	輸送用機械器具製造業	14	14.3	78.6	7.1	7.2	14	42.9	50.0	7.1	35.8	14	14.3	71.4	14.3	0.0
	精密機械器具製造業	13	15.4	69.2	15.4	0.0	13	30.8	46.2	23.1	7.7	13	15.4	61.5	23.1	-7.7

製造業の受注状況DIの推移

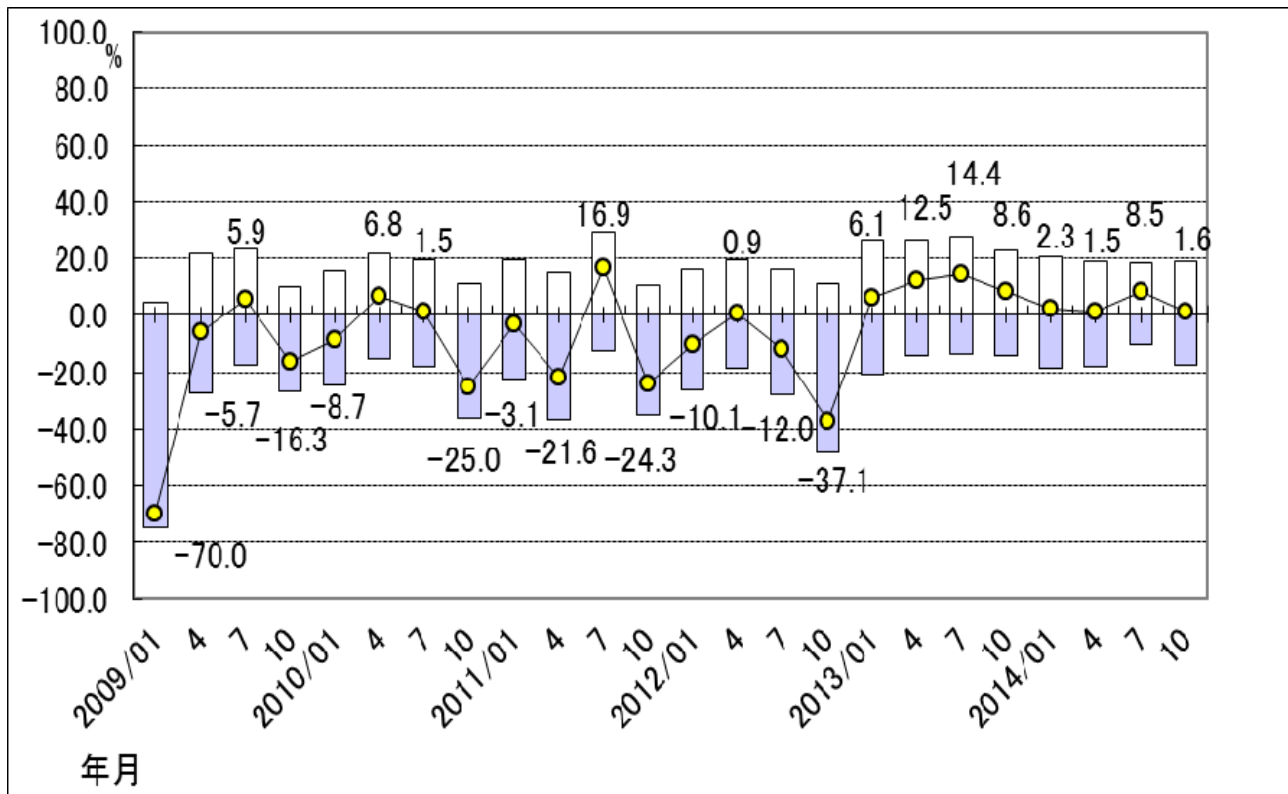
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



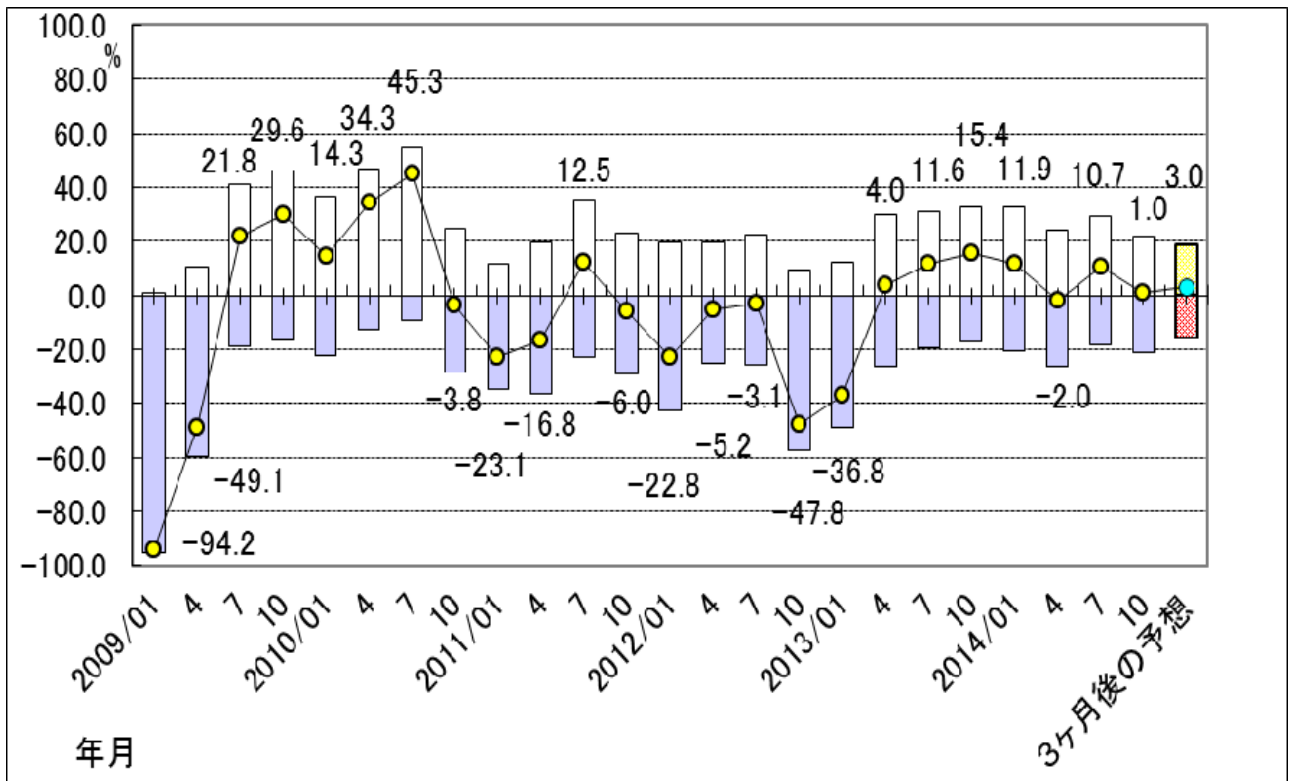
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



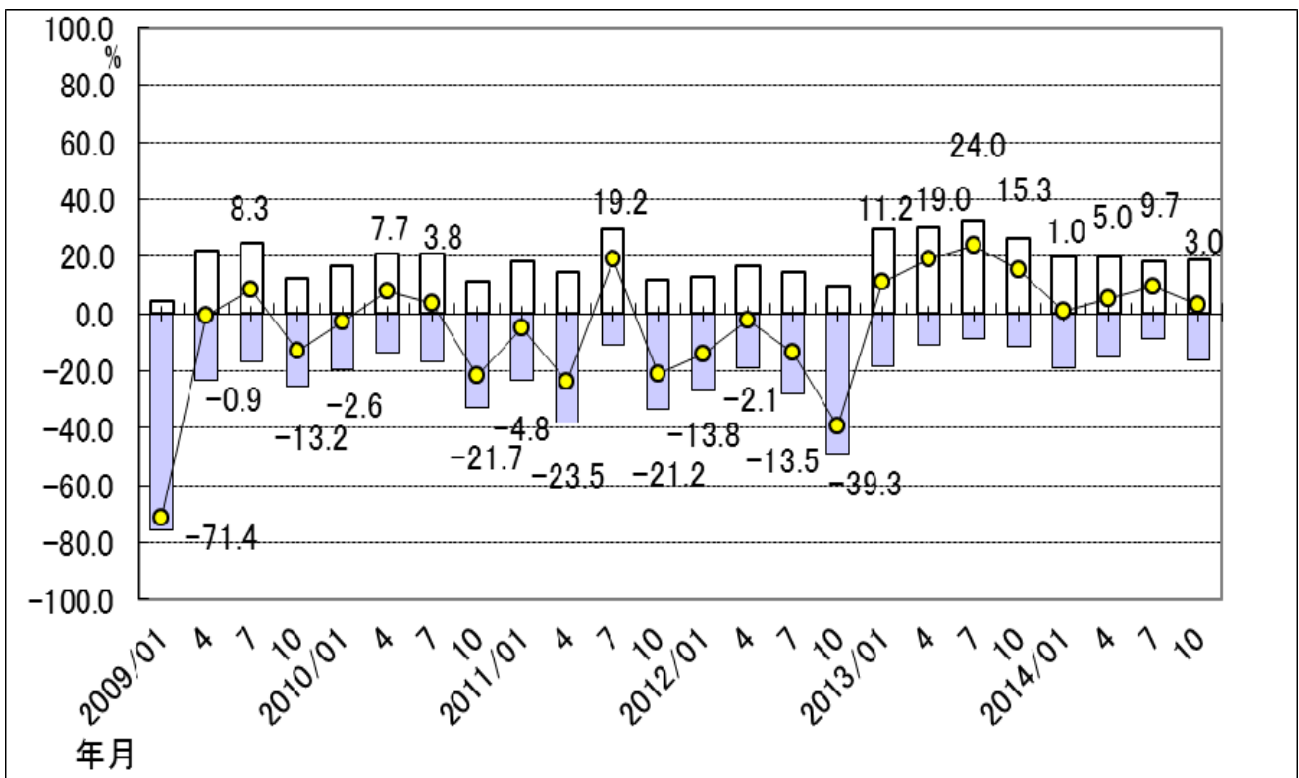
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2.商業・観光サービス業

①商業

「3ヶ月前」と比べ、大型店を中心とした業況判断DIは0.0と前回の△18.2から改善した。来店客数DIも0.0で前回の△36.4から改善し、収益性DIは9.1で前回と同様だった。一方、「3ヶ月後」の業況予想DIは△54.5で、来客数、売上げ、収益性とも減少予想が占め、前回の△27.3から大幅悪化した。消費増税の影響は「3ヶ月前」に比べて、「多大」とする企業は前回の18.2%から36.4%へ増加し、3ヶ月後の予想も同様な傾向で、不透明感が強くなっている。

- 食料品 高騰していた生鮮野菜の価格が落ち着き、例年並みとなった。鮮魚の仕入れ単価は、天候の影響などで天然ものが高値となっている。
- 衣料品 天候に左右されやすく、顧客の購買意欲が盛り上がっていない。今後の防寒用品やスキー、スケート関連などの動きに期待がかかる。
- 自動車 長野県内の10月の新車新規登録・届出台数は登録車が4,712台となり、前年同月比で3ヶ月連続減少した。軽自動車は4,323台で2ヶ月連続増加した。
- 家電店 洗濯機や冷蔵庫などは低調で、買い替えではなく修理依頼が増加している。
- ホームセンター 10月は灯油の高止まりと、寒さが厳しくなっていないことなどで、暖房器具は石油より電気用品のほうが伸びる傾向がある。園芸用品なども総体的に例年並みの動きとなっている。

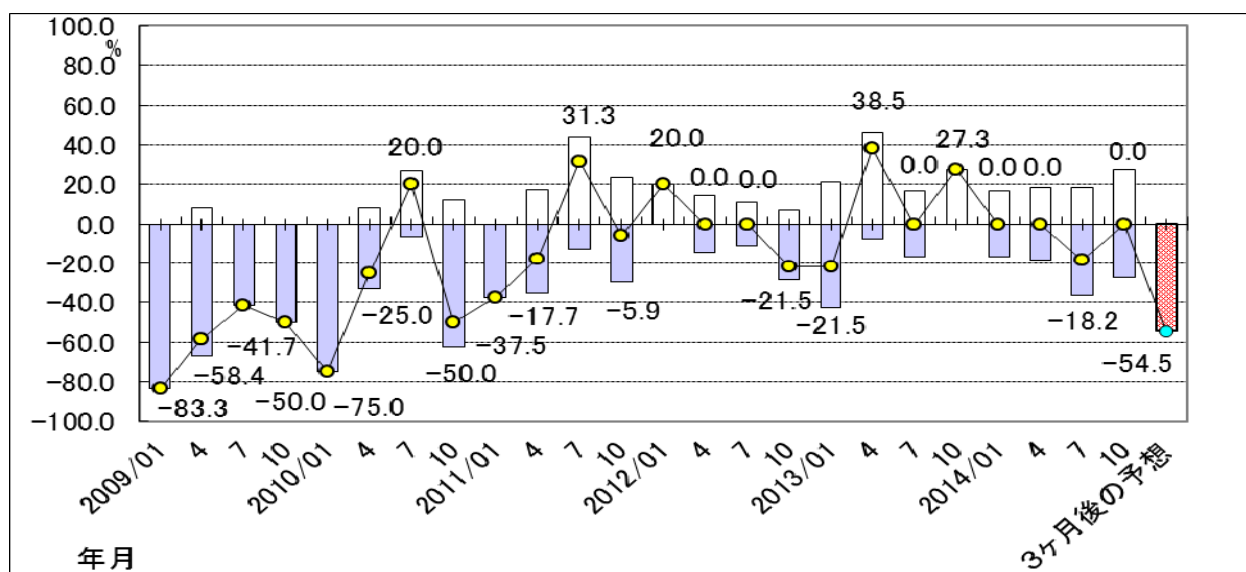
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	11	27.3	45.5	27.3	0.0	11	27.3	18.2	54.5	-27.2	11	0.0	45.5	54.5	-54.5
客単価	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	18.2	45.5	36.4	-18.2	11	9.1	72.7	18.2	-9.1
来店客数	11	36.4	27.3	36.4	0.0	11	36.4	27.3	36.4	0.0	11	0.0	54.5	45.5	-45.5

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

業況判断DIは、「3ヶ月前」比が△4.8で前回調査時の42.9から大幅悪化した。「前年同期」比では、客単価DIが△9.5から0.0へ改善し、宿泊客数DIも△9.5から4.7へ改善したが、材料や燃料などの費用負担は28.6%の企業が上昇した。「3ヶ月後」の業況予想DIは季節要因もあり、△19.1で前回の14.3から悪化し、宿泊客数DIも△23.9で前回の4.8から悪化した。材料や燃料などの費用負担が上昇した企業は、「3ヶ月前」との比較では19.0%で、「3ヶ月後」には38.1%が上昇を予想している。

減少傾向と思われた消費増税の影響は、「3ヶ月前」比で76.1%、「3ヶ月後」の予想も80.9%の企業が影響を感じている。

- 上諏訪温泉 10月の宿泊人数は総体で前年比増加し70%台～140%台となった。台風報道で予約キャンセルのケースもあり、中には満館貸切の予約が一括キャンセルになったケースもあった。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか 前半は芳しくなかったが、紅葉のピークとなった後半は、団体旅行のバスが増加した。御嶽山噴火の影響でキャンセルがあった施設もあった。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた10月の参拝者数は約51千人と、前年同月比約1千人の減少(△2.6%)となった。

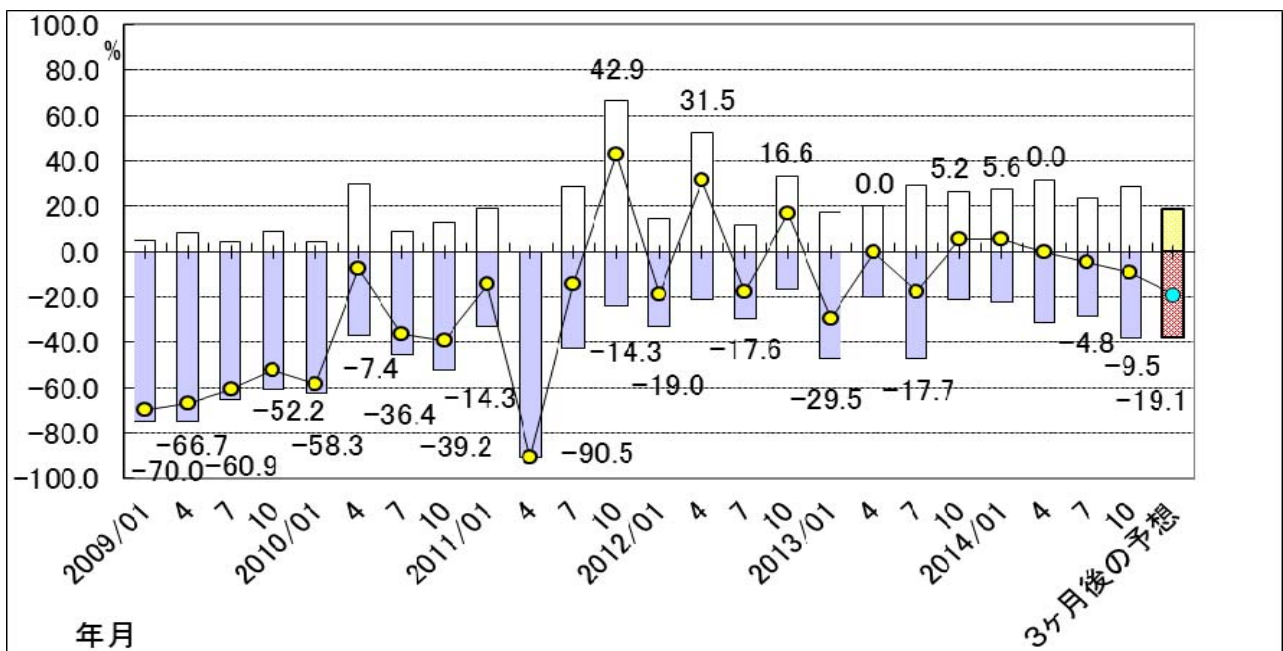
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	21	23.8	47.6	28.6	-4.8	21	28.6	33.3	38.1	-9.5	21	19.0	42.9	38.1	-19.1
客単価	21	28.6	52.4	19.0	9.6	21	9.5	81.0	9.5	0.0	21	9.5	61.9	28.6	-19.1
宿泊客数	21	33.3	28.6	38.1	-4.8	21	33.3	38.1	28.6	4.7	21	19.0	38.1	42.9	-23.9

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

業況判断DIは「3ヶ月前」比で「横這い」企業が90.9%で、9.1と前回調査時の0.0からやや改善したが、「前年同期」比では△9.1で前回の20.0から悪化している。原材料などの費用負担は、前年同期に比べ、63.6%が上昇している。「3ヶ月後」の予想は「横ばい」の0.0で、前回の10.0からは悪化している。受注状況予想DIは、前回の△10.0から△9.1で前回とほぼ同様の見込みとなっている。

●建築工事

諏訪地方の平成26年9月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市10戸、諏訪市16戸、茅野市33戸、諏訪郡23戸だった。平成26年4月～9月の利用別の前年同期累計比では、貸家が24.5%、持家は20.5%、分譲は8.1%それぞれ減少した。県全体の9月の新設住宅着工戸数は903戸で、前年同月比7.2%減少した。

●公共工事

10月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所4件83百万円、林道治山工事関係2件43百万円、長野国道事務所等国関係1件481百万円だった。市町村発注工事は前年同月比で件数は3件減少したが、契約金額では89百万円増加した。

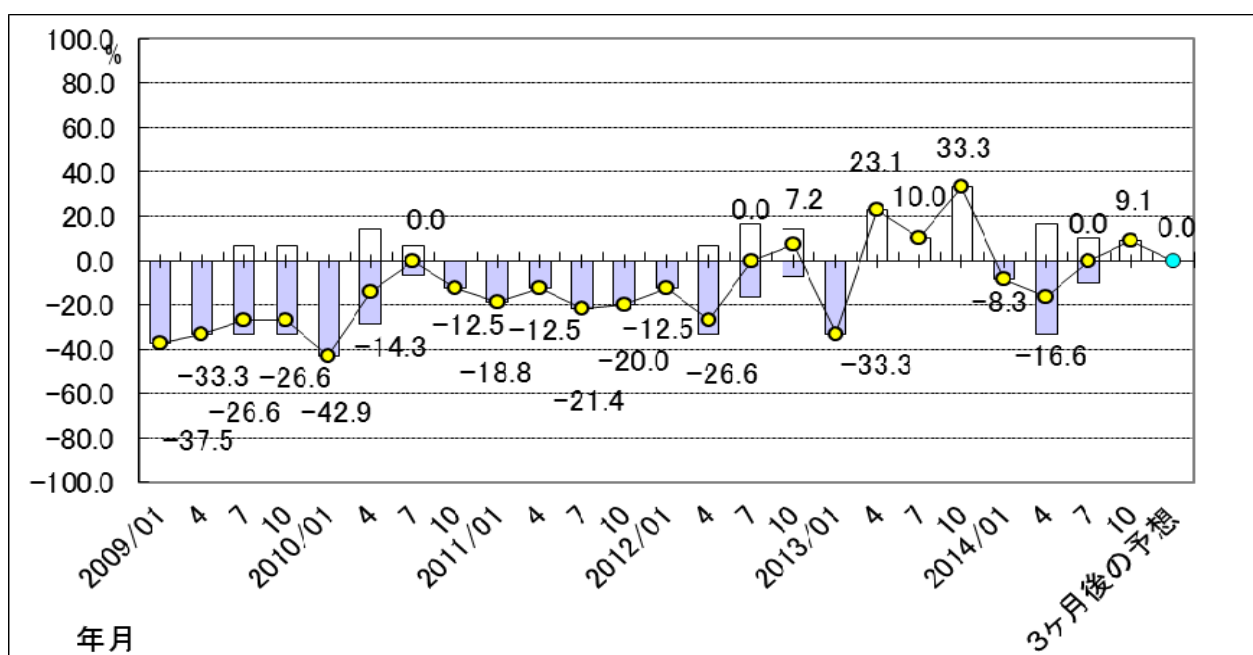
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	11	9.1	90.9	0.0	9.1	11	0.0	90.9	9.1	-9.1	11	0.0	100.0	0.0	0.0
受注状況	11	18.2	63.6	18.2	0.0	11	9.1	54.5	36.4	-27.3	11	0.0	90.9	9.1	-9.1
外注発注量	11	27.3	63.6	9.1	18.2	11	18.2	54.5	27.3	-9.1	11	0.0	90.9	9.1	-9.1

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



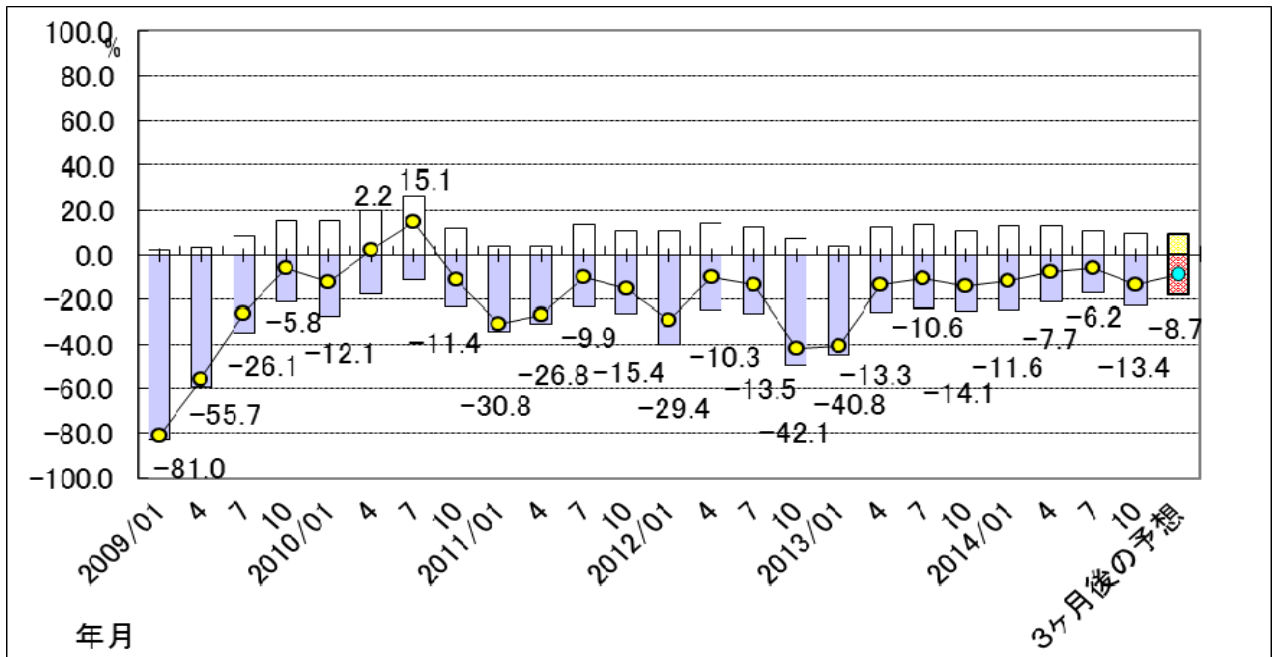
4.収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業11.2%、「悪化」企業21.8%で、同DIは△10.6と前回調査時の△3.5から悪化した。「前年同期」比も△7.1で、前回の△3.5から3.6ポイント悪化した。製造業は△13.4で前回の△6.2から7.2ポイント悪化し、非製造業は△2.3で前回の4.7から悪化している。原材料や燃料の高騰による収益圧迫の声は多い。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△8.8で前回の△2.3から6.5ポイント悪化し、非製造業も△20.9で前回の△11.9より悪化している。回答全社では△11.8で、前回の△4.6から悪化幅が広がっている。

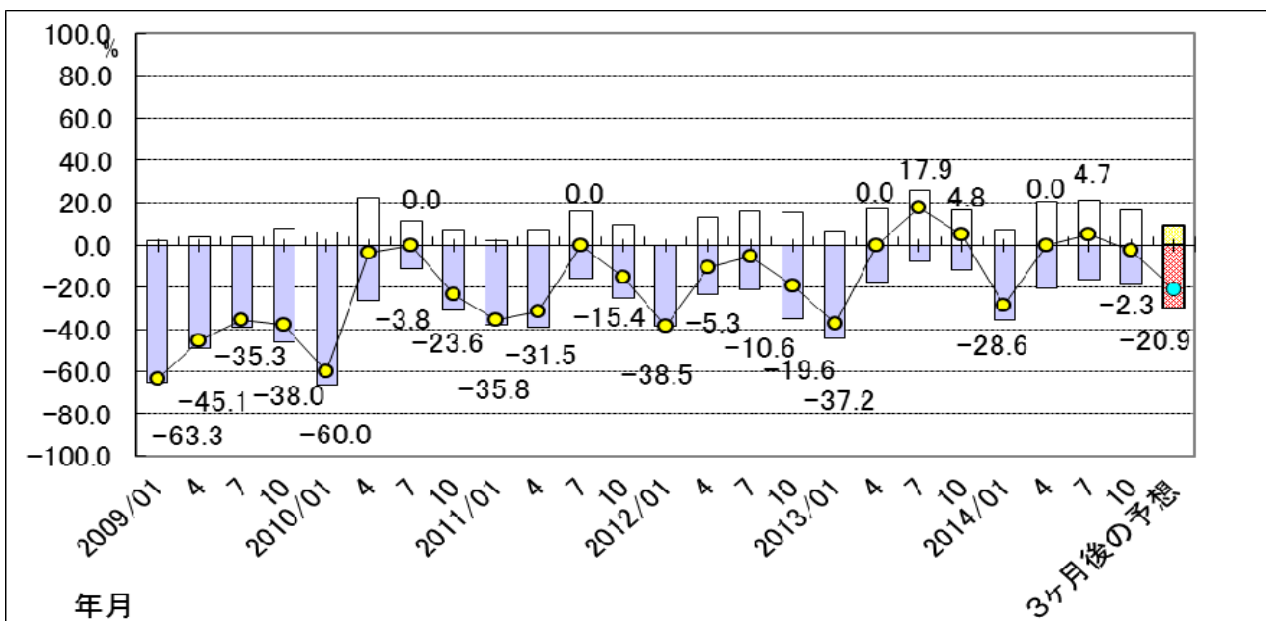
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として前回に比べて、①製造業は、競争激化と資金繰り②商業(大型店)は、売り上げ減少と労働力確保③建設業は、人件費と資金繰り④観光・サービス業は、資金繰りと人件費が増えている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	60	45	7	1	7
単価引下げ	30	24	1	1	4
競争激化	45	34	4	5	2
資金繰り	39	30	2	2	5
人件費	31	20	3	3	5
労働力確保	39	22	5	6	6

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【9月】	ハローワーク諏訪	1.14倍	0.21ポイント	
手形交換高【10月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	6,024枚	△380枚	
	金額	8,999百万円	△1,302百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	△7枚
	金額	0千円	△2,690千円	
電力使用量【10月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	39,813 MWh	3.7%	
	高压電力計	90,024 MWh	△1.2%	
	合計	129,837 MWh	0.3%	
車庫証明取扱件数【10月】(諏訪地方合計)		959件	△6.3%	
新設住宅着工戸数【H26.4~26.9】(諏訪管内)		529戸	△23.9%	

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- ① 調査期間 平成26年10月末
- ② 調査内容 「平成26年10月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- ③ 調査方法 アンケート調査(回答数 下記⑦)及びヒアリング調査(約130社)
- ④ 対象地域 諏訪地域全域
- ⑤ 業種 製造業、商業(大型店:売り場面積501㎡以上)、建設業、観光・サービス業
- ⑥ 回答企業数 170企業
- ⑦ 回答率 66.1%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	190	20	20	27	257
回答数	127	11	11	21	170